

独立行政法人水産大学の平成20事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画が順調に達成され、独立行政法人評価委員会による平成20年度の総合評価が「A」評価であったこと及び評価委員会における指摘がなかったこと等から、評価結果による役員の交代等を行わなかった。
----------	--

2. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	20事業年度評価における主な指摘事項	平成21及び22年度の運営、予算への反映状況
業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	実学の教育機関として教員の資質の向上は学校運営上必要不可欠であり、資質の向上を図り、業務の高度化を進めたことを評価する。さらに人事評価も検討、試行から実施に移行するよう望む。	平成21年度には評価基準を定め、教職員の新たな評価制度の試行を行った。 平成22年度は試行結果の分析・検証を踏まえ、新たな評価制度を導入した。
予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	人件費については、中期計画末の5%削減計画は5年間で5%削減を達成することとしているが、20年度において、削減率が2.8%となっているため、今後の退職予定者数等を聴取し、分析したところ、中期計画末には5%以上の削減が見込めることがわかった。中期計画末までに5%以上の削減を望む。	退職者の不補充等による人件費の削減により、平成21年度末での削減率（人事院勧告による補正後）は約6.6%であり、平成22年度末には中期計画末の5%削減（人事院勧告による補正後6.7%）を確実に達成する見込みである。